



鴨 都 建 第 7 2 8 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

鴨川市長 本 多 利 夫



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

標記について、平成20年9月19日付 国道企第37号で依頼がありました
ので、別紙のとおり回答いたします。

- 1 地方の道路整備の遅れが地域間格差を助長・拡大させる要因であると考えられるので、現在の都市中心の道路行政と並行して、地方の社会経済を支える骨格的な広域幹線道路ネットワークの促進を図る。
- 2 地方の特性に応じた柔軟な道路構造の採用等、地方の裁量を拡大し、コストの削減を図ると共に、集中的に予算を投入し、事業のスピードアップにより、早期に事業効果の発揮を図る。
- 3 地方においては、移動手段の多くが自動車の利用が実態であり、また災害緊急輸送、救急医療など経済性、効率性だけでは評価出来ない道路整備もあるので、それらを考慮した道路行政を願う。
- 4 地方における市町村道の整備立遅れを解消する為、助成制度の充実を図る。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状 災害時の緊急輸送を担う、緊急輸送道路ネットワーク（一次路線）の指定を受けている国道において、大雨による法面崩壊により道路が寸断され、第三次救急医療施設への到着が遅れ生命に危険を及ぼした経緯がある。 外房地域において、広域幹線道路が単路線しかない現状であるため、本路線に車が集中し、観光シーズンを中心に交通渋滞を引起こし、地域住民の生活に支障を来たすばかりか、観光地としての印象の低下をも招いている。 県において、「県都 1 時間構想」「高速アクセス 30 分構想」を進めているが、高速道へのアクセスには、国道が未整備であるため、半島の中でも、当地域は社会経済に格差が生じており、これらの道路整備は、半島性の脱却に向けた喫緊の課題である。	○課題 外房地区唯一の第三次救急医療施設へより迅速な救急搬送を図るために、平行しての広域を網羅する地域高規格道路等、災害対策として代替機能を有する路線の建設や当該地域の安定的な道路機能の保全を図る必要がある。 バイパス的性格を有し、地域の中核都市を連絡し、もって地域の活性化を図る地域高規格道路の建設が必要である。 既存する主要地方道等の整備促進を図る。
--	---

- １ 災害発生時における幹線道路の複数路線の確保
- ２ 半島性からの脱却と地域地場産業を担う道路ネットワークの強化
- ３ 広域幹線道路と一般道路とのバランスのとれた道路整備
- ４ 「県都 １ 時間構想」「高速アクセス ３ ０ 分構想」の早期実現

千葉県鴨川市

○重点事項 地域活力の向上 (半島性からの脱却)	○代表事例 ①地域高規格道路の建設 ②既存する主要地方道等の整備促進	○期待する効果や評価等 バイパス的性格を有することにより、観光シーズンを中心とした地域の交通渋滞を解消することや、災害時の迂回機能を有すること、更には、第三次救急医療施設へより迅速な救急搬送を図れる。また南房総地域の交流拠点を連絡することにより外房地域の活性化を図れる。 「県都1時間構想」「高速アクセス30分構想」の実現を図ることにより、観光や地域産業等の活性化に伴い、社会経済の発展が図れる。 複数路線が確保でき、災害時における交通の寸断の危険性が解消できる。	○その他
---	--	---	-------------